



ぼうさいあいち

会報 33号 (夏だより)

発行日 令和6年 6月1日
特定非営利活動法人
愛知県防災士会

「新年度スタートのごあいさつ」

日頃は NPO 法人愛知県防災士会の活動に格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

冒頭に能登半島・台湾東部で発生した地震により亡くなられた多くの方に哀悼の意を表すと共に、ご遺族並びに被災された方々にお見舞い申し上げます。

令和6年1月1日16時10分ごろに石川県珠洲市付近を震源とする、マグネチュード7.3・震度7の能登半島地震が発生しました。家屋の倒壊、津波の発生並びに市街地で火災が発生する等、大きな被害が出ました。

被災地では厳しい状況の中での懸命な救助・医療支援等、復旧等に取り組んでいる多く方の支援活動により復興・復旧が進んでいますが、奥能登の一部ではいまだに断水が続き、避難生活も長引き不自由な生活が続いています。

また、4月3日朝に台湾東部を震源とするマグニチュード7.7の地震があり、全土で強い揺れを観測し、複数の建物が倒壊、土砂災害も発生し、沖縄本島地方等にも一時津波警報が出され、住民・観光客等が避難する緊迫した状況になりました。

一日でも早い復旧・復興をお祈りしたいと思います。

この様に予期せず発生する自然災害は未然に防ぐことはできません。

特に地震は時と場所を選ばず発生します。事前の備えと心構えの必要性が益々重要になってきます。

今年度も NPO 法人愛知県防災士会は地域防災を展開し、多くの方に災害時の防災意識を高め、減災・自助防災に向けた啓蒙活動を皆様と共に進んでまいりますのでご支援・ご協力をお願いします。



NPO 法人
愛知県防災士会
理事長 寺島 一徳

会報誌 33号 目次

- 新年度スタートのごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
理事長 寺島 一徳
- 愛知工業大学防災士養成研修講座 講義・・・・・・・・・・・・・・・・P3
日時：2023年12月10日（日）15:30～16:30
大塚 正寿
- 第11回 地区防災リーダー研修会 1日目「エビデンスのある防災のススメ」・・・・P4
日時：2024年1月25日（木）18:50～20:50
小林 春代
- 第11回 地区防災リーダー研修会 2日目「みんなでつくる地区防災計画」・・・・P5
日時：2024年2月9日（金）18:50～20:50
小林 春代
- 令和5年度 名古屋市高齢者・障害福祉職員 防災研修・・・・・・・・・・・・P6
日時：2024年1月31日（水）10:00～16:40
大塚 正寿
- 愛知県防災士会スキルアップ研修 BLS 講習に参加・・・・・・・・・・・・P7
日時：2024年3月9日（土）13:00～15:00
名古屋植田西郵便局長 村瀬 賢晃
- 春の広小路市へ参加して・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8
日時：2024年4月4日（木）～ 5日（金）11:00～14:00
原田 友子
- 防災士ここにあり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P9
原田 友子



愛知工業大学防災士養成研修講座 講義

日時 : 2023年12月10日(日) 15:30~16:30
場所 : 愛知工業大学 八草キャンパス 1号館 5階 502号室
依頼先 : 愛知工業大学地域防災研究センター
参加者 : 愛工大及び豊田高専及び一般 計97名
講師 : 大塚理事 ・ファシリテーター 宮澤副理事長
議題 : 「防災士に期待される活動」

本講座は、防災士資格試験の必須講座の一部として実施されました。内容は、事前に愛知工業大学地域防災研究センター様より送付された「防災士の手引き2023」の「防災士に期待されること」の章の内容に基づき、愛知県防災士会の活動内容を盛り込んだパワーポイントを作成し説明いたしました。

受講者の方々には、防災士資格は、ゴールではなく、自己研鑽のスタートであり、地域の自助啓発の発信者であることをご理解頂きました。



取材担当：大塚 正寿

蒲郡市出前講座

2023(R5)年度蒲郡市社会福祉協議会市民活動助成金事業 第11回 地区防災リーダー研修会 2日コース

日 時 2024(R6)年 1月25日(木) 18:50~20:50

2月9日(金) 18:50~20:50

会 場 蒲郡市民会館 大会議室

講 師 愛知県防災士会 防災アドバイザー 小塚 達也

主 催 防災塾 ~知ってて蒲郡~

後 援 蒲郡市

能登半島地震惨状情報の中、今年度で11回を迎えた市内全域対象「防災リーダー研修会」。例年アンケート結果希望多数の平日夜間開催に。小塚講師には遠路2日間お運び頂きました。

1日目「エビデンスのある防災のススメ」

参加人数 59人(女性 18人 30.5% : 男性 41人 69.5%)

多くの防災グッズを持ち込み頂き、実物を示されながらの具体的説明に参加者は理解、納得できたアンケートにも記載ありました。

防災活動の時点から「エビデンス」…証拠・根拠・裏付けを考えて(講師提供資料から)

- ◆「防災界は、不確実な情報や馴染みが薄い数字や言葉のオンパレード！」
- ◆「空気・水・風の特徴を知れば、暑さ・寒さ対策がわかる」
- ◆「事前の準備が最大の防御」
- ◆「水の中を歩く問題」 : 水害時、夜のクルマ避難で誘われるように水没してしまう理由
: アウトドアでのウェアリングで快適に : 地元の危険を知っておく

いつかは いつも 急に来る!!

アンケートから(回答数 44通)抜粋

「エビデンス」という言葉を使っていますか(複数回答可)

意味を知っていてよく使う 40.9% 言葉を聞いたことはある 38.6%

使ったことはない 18.2% 詳しくは初めて聞いた 11.4%

- : 日々の備えの大切さを再認識しました。: 備蓄の必要性を痛感、携帯トイレはかなり多めに準備必要。
- : 防災訓練の劇場型、ブラインド型については目からウロコでした。ありがとうございました。
- : 本日の研修会で知らない知識を得ることができ良かった。(1/10~12 能登半島災害支援ナース活動者)
- : 具体的事例、防災グッズ説明勉強になりました。
* 空気/水/風の特徴 * ライフジャケットの作り方 * 防災グッズいろいろ
- : 講師の実務的な話が大いに参考になりました。
- : 南海トラフを身近なものとして捉えないといけないなと改めて痛感、災害関連死は心の傷/ストレスから。地域や周りのつながりを持てるようにしていけたらと考える。

2 日目「みんなで作る地区防災計画」

参加人数 49 人(女性 19 人 38.8% : 男性 30 人 61.2%)

市長/副市長部局 危機管理課が、向こう 6 年間に市内全域に「地区防災計画」の策定を公表しました。現状は防災塾 ～知ってて蒲郡～主催 平成 28 年度市民企画まちづくり助成金事業として開催した市内全域対象「防災リーダー研修会」受講、積極的な拾石地区で具体的研修会を助成金事業の一環として開催、作成した「拾石町防災計画」が令和 2(2020)年2月、市防災会議で「地区防災計画第1号」に認定されました。市主導では、大塚地区で 2023(R5)年 12 月に検討委員顔合わせ開催、3 月年度末に「計画案」が提示されました。該当地区から避難所に指定されている小/中学校長のお二人、検討委員7人が研修会に参加して頂けました。



- ◆地区防災計画って何? …2013 年災害対策基本法改正 居住者/事業者主体作成(講師提供資料から)
- ◆地区防災計画をなぜ作る必要があるのか? …準備/対策/訓練 いざという時「共助」できる
- ◆地区防災計画をどう作るのか? ◆具体的に地区防災計画を進めるには?
…事前(メンバー集め) …計画作成(知る.調べる.決定作成) …計画実施(実施.振り返り.修正)
- ◆Q&A…地区とは? 地区防災計画は地震と水害どちらを作る? 立派な計画作る自信ないが等
- ◆避難に必要な TKB+W(C)とは
…T トイレ(衛生) K キッチン(食事) B ベッド(睡眠) W ウォーム(暖かさ) C クーリング(冷却)
- ◆防災の補足情報…スマホのバッテリー消費を節約する
- ◆地区住民の「共助」カアップのためのイベント開催

多数の熱心な感想が
寄せられました

普通が普通で無くなる それが災害

アンケートから(回答数36通) 自由記載抜粋

- : 今回の地震を踏まえ、早急に蒲郡市も備えの準備をする必要があると痛感した。
- : 大規模災害の発生時、全市民が正しく動くことができる知識を身につけ、減災防災に役立てたい。
- : 今がチャンス。 : 各地区(町内)に防災組織の活動を。
- : 自主防災会活動を、災害を想定した「実」のある活動に変えなければいけない。従来のおさなりの訓練で無く「防災」に活かせる訓練にしたい。
- : 計画やマニュアルはあるが、訓練をやってみると落とし穴や問題点が出てくる。次回へつなげる訓練が必要。
- : 非常に分かり易く、防災の重要なポイントが知れ、事業所の BCP 作成にもプラスしていきたい。
- : 身近な事と考え、日頃から自分に何が出来るか考える機会になり、ありがとうございました。

取材担当: 小林 春代

令和5年度 名古屋市高齢者・障害福祉職員 防災研修

日時 : 2024年1月31日(水) 10:00~16:40
場所 : 名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室
依頼者 : 社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会
参加者 : 高齢・障害福祉事業所の施設長、管理者 計80名
講師 : 小塚研修委員長
ファシリ : 手塚副理事長・宮澤副理事長・広瀬理事・伊藤理事・大塚理事
テーマ : 「福祉施設・事業所における防災体制と災害対策」
~その時あなたはどうしますか?~

1. 研修内容

(1) 第一部 座学

全国の福祉事業所に義務付けられたBCPはどのように策定され、運用するか図などを用いて解説された。

(2) 第二部 ワークショップ

BCP策定済・防災設備設置済・震度7の地震が発生を想定、施設対応について「初動」・「避難」・「トラブル対応」などをグループに分かれて話し合った。その後、BCP未策定、防災設備未対応の場合も同様に話し合った。

2. 参加者の声

(1) BCPが策定され職員と共有されていないと災害時初動が遅れ、重要な備品の所在が分からないなどの不都合が発生して施設利用者全員を守り切れないと思った。

(2) 災害時施設が夜間で停電した場合、どう対応するか、事前にBCPを策定して職員と共有していないと大混乱を起こす可能性が高いことが分かった。事業所に帰ったらすぐ取り組みます。

参加者の皆さんからBCPの策定、共有・更新の重要性がよく理解できたなど感想を多く頂きました。



取材担当：大塚 正寿

愛知県防災士会スキルアップ研修 BLS 講習に参加

名古屋植田西郵便局長 村瀬 賢晃

日時：2024年3月9日（土）13:00～15:00
場所：東特会館 4階会議室
講師：藤田医科大学医学部 健康科学 准教授 若月 徹

日常生活で目の前で人が急に倒れたら迅速に対応できる人はどれ位いるでしょうか？倒れた人がもしも家族だったら・・・

正しい応急手当を知り実践することで命を救うことができたり、後遺症を残さずに社会復帰してもらうことに貢献できるかもしれない。

そんな活動も防災士の役割の一つだと気づくことが出来ました。一次救命処置の心肺蘇生法のPUSHコースを体験し防災士の活動に活かしていきたいと思いました。



今回の講習は、一次救命処置の心肺蘇生法のPUSHコースを体験していただきます。参加者の方一人一人に体験していただき、防災士技能のスキルアップとブラッシュアップをしていただこうと企画いたしました。また、腰手術による防災啓発など、ご紹介させていただこうと思っております。ぜひ、ご参加いただき、日頃の防災士活動に役立てていただきたいと思います。

講師紹介 若月 徹 医学博士・体育学修士
NPO法人愛知県防災士会会員 防災士・藤田医科大学医学部 健康科学 准教授
医学情報教育推進室 室長、ボランティアセンター副センター長

日時：2024年 3月 9日（土）
12:30 受付 13:00 開講 15:00 終了

場所：東特会館 4F 名古屋市中村区亀島1-11-14

申込み締切 2024年 1月31日（水）

定員
40名

参加申込方法：メールにて氏名、防災士登録番号、年齢、お住いの市町村をお知らせ下さい。
参加申込メールアドレス：gogobousai@gmail.com

お問合せ：愛知県防災士会 研修委員長 コツカまで 090-3935-6941 (10:00～20:00まで)

今回の講習に関するご質問がございましたら、事前にメールでお知らせ下さい。

主催：NPO法人愛知県防災士会



春の広小路市へ参加して

日時： 2024年4月4日（木）～ 5日（金） 11:00～14:00
場所： 広小路通り商店街ブース
講師： 愛知県防災士会 副理事長 手塚 哲郎
補助者： 副理事長 宮澤 昌嗣 原田 友子 伊藤 知恵

毎年春と秋に行われている広小路イベントに愛知県防災士会もここ数年参加して防災士活動のPR活動を行っています。

今年も4月4日（木）、5日（金）の2日間「防災ワークショップ」コーナーを開設、

- ① 災害時のロープワーク
- ② 緊急用トイレ対策と対応
- ③ 液体ハミガキのサンプル表示
- ④ 応急的新聞スリッパの作成

等を行った。

今年は1月の能登半島地震もあり、第1日目の4日は強風にもかかわらず、多くの方が興味を示し大盛況でした。

防災士活動への質問も頂き、地域で色々な防災研修や講習会を開催しているとの方からは「人を助ける」「自分が助かる」のロープワークの講習会をやってほしいと講演依頼はどうすれば良いか尋ねられ愛知県防災士会の活動に興味を持って頂け、防災士の資格はどうすれば取れるか等の質問もあり防災士ならびに防災士会のPRにつながりました。



取材担当 原田 友子

《防災士ここにあり》

この程、NPO 法人愛知県防災士会の理事であり、
防災アドバイザーの近藤 斎様が、2023年度の
「あいち防災人材奨励賞」を受賞されました。

この賞は、防災・減災カレッジを卒業して、防災・
減災への取り組みを継続的に実践し地域防災力の充実、
向上に貢献した方に贈られる賞です。

「あいち防災人災大賞 1点」

「あいち防災人材奨励賞 数点」受賞した方は、
名古屋大学減災館のホームページに写真と名前が掲載
されるとの事です。

地域で活動しておられる愛知県防災士会の会員の方も
ぜひチャレンジ応募してみてください。



応募〆切：2024年1月31日

2023年度 あいち防災人材表彰

取組大募集！

防災・減災カレッジで得たスキルを活かし、自主的な防災・減災への
取組を継続的に実践した取組のうち、地域防災力の充実・向上に貢献し、
他の模範となる取組を表彰します。自薦・他薦は問いません。

応募対象者 ①②の両方を満たすこと	表彰の種類
① あいち防災人材の認証を受けていること	🏆 あいち防災人材大賞 一点
② 愛知県内を主たる活動場所として、防災・減災への取組を実践していること	★ あいち防災人材奨励賞 数点

応募から表彰までの流れ

応募	①あいち・なごや強靱化共創センターのWebページから、募集要項を確認の上、申請書又は推薦書をダウンロード ②申請書又は推薦書、活動の詳細が分かる資料・写真（様式任意、A4判-20枚まで）をあいち・なごや強靱化共創センターへメールで提出
審査	審査会において、表彰基準に基づき活動内容を総合的に審査し、被表彰者を決定します。被表彰者には、個別にご連絡します。
表彰	2024年度防災・減災カレッジ開校式（6月末頃）において表彰状授与を行います。開校式で、取組・実践事例を発表していただく場合があります。

ご応募・お問合せ

あいち・なごや強靱化共創センター
〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学減災館4階402号室

電話：052-747-6979（受付時間 平日10時～12時 13時～16時）
メール：kyoso@gensai.nagoya-u.ac.jp
Web：http://gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/college.html

